

一般選抜 T 方式 数学 出題意図

【大問 1】

互いに無関係な小問 3 題からなっている。(1)は数学 A の確率の問題。(2)は数学 II の指数の問題を連立方程式の形で出題した。(3)は数学 C のベクトルの問題。丁寧に誘導しているので素直にそれに乗っかれば良い。確実な理解力が試される。

【大問 2】

互いに無関係な小問 3 題から構成される。(1)は数学 II で学ぶ円と接線の問題、(2)は多項式の指定された項の係数を求めさせる問題。非常に単純な、機械的な計算だけで解けるはずの問題。(3)は対数に関する連立方程式の出題。いずれも基本的だが、論理の力も若干問われる。

【大問 3】

数学 II の微積分に関する一連の総合的な出題。枝問 3 問しかないが、基礎基本の理解が問われるようにしてある。

【大問 4】

数学 B の数列に関する一連の問題。具体的な数値条件が少ないのと、2 回続けて階差をとる仕掛けとで、表面的でない理解力・運用能力が試される。